

平成 27 年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰優秀賞地区

【環境保全型農業直接支払】

もり あきのぶ
「森 昭暢 氏」(広島県東広島市)

(1) 経営面積：170 a

(2) 事業取組概要

- 取組内容：有機農業の取組
- 取組面積：142 a (H26 年度)
- 対象作物：水稻、たまねぎ、キャベツ、果菜類等

【地区の取組概要】

森氏は、脱サラ後、1年半の農業研修を経て5年前に地元広島県で就農し、就農当初から地域資源を活用した循環型の有機農業に取り組んできました。

土づくりに努め、栽培方法も工夫しながら取組面積を拡大するとともに、近隣の有機農業に取り組む農業者の中心として活動し、不足する品目を補完する等の協力関係を築きながら販路の開拓を行っています。



森氏の経営する農園「安芸の山里農園 はなあふ」

また、平成 26 年度からは、東広島市から認定農業者の認定、広島県から青年就農給付金(準備型)の研修機関の認定を受け、研修生を積極的に受け入れるなど、新規就農者の育成にも力を注いでいます。

【主な取組内容】

- 野菜ではぼかし肥料の施用や疎植栽培、水稻では緑肥と深水管理の徹底など様々な技術を取り入れ、消費者ニーズの高い品目を生産し、インターネット販売や飲食店、保育園等への出荷、百貨店での店頭販売等多様な販売を展開しています。
- 就農してから4年間で10名の研修生を受け入れ、研修生の就農時の住居・農地の確保には地域住民と連携し、マッチングも行っています。
- 他の有機農業者と連携した田植えイベントなど、消費者との交流を通じ、有機農業や自然環境の大切さに対する理解を深める活動を展開しています。



草生栽培：交互に設置した畝と通路を、作期毎に入れ替え



ネット販売による宅配の一例



田植えイベントなどで消費者と交流

